

令和7年度 学校経営計画書

学校名 津山市立久米中学校
校長名 齊藤 員由

○本校のミッション(使命、存在意義)

津山市の教育基本理念は、「自立し 心豊かに たくましく『つなぐ力』を育む」
「つなぐ力」とは、個の学びの成果を社会に活かす力(社会貢献力)である。

◆教育の使命(目的)は

- 自らの将来を、自らの力で切り拓く人材の育成 「自立(自分で決める力)できる人材」の育成
- ふるさと津山に誇りと愛着をもち、自己肯定感を高め、地域や社会に貢献できる人材の育成
様々な人との関わりや体験・経験等があるからこそ愛着や誇りが持てる。

◆使命(目的)達成のための基盤となるものが、「学力」や「体力」「チャレンジ精神」「規範意識」等である。

◆その基盤を築くために、津山市の重点取組が

- 確かな学力の定着(学びのサイクル) ○自己肯定感(学ぶ力)の醸成(つやま郷土学)
この2つをバランス良く育成する。→「自立し、主体的に学ぶ意欲の育成」

◆目指す子ども像

「主体的に考え、自立した心豊かな子どもを育む」

津山市立学校として、次のような資質を有する生徒を育成することで、地域の発展に寄与する。

- 幅広い視野と知識に基づく思考力と創造力を身に付け、社会の各分野で主体的に活動することのできる生徒の育成
- 豊かな人間性をもち、自分を律し他を尊重しながら、さまざまな課題を解決することのできる 生徒の育成
- 地域の自然と文化を誇りとし、国際社会で活躍できるバランス感覚を身に付けた生徒の育成

○内外の環境分析

内部環境

- 緑豊かな美しい自然に恵まれ、落ち着いた環境のもとで学業に励むことができる。
- 生徒は自己肯定感が高く、さまざまな活動に対して意欲的かつ積極的に取り組むことができる。
- 一方で、規範意識が低く、自己理解ができず、自分と向き合うことができない生徒や、場に応じた自己コントロールができない生徒、コミュニケーションが苦手な人間関係づくりが難しい生徒が増えている。
- スマホの所持率も高く、SNS等のネット利用に対する課題意識が低い。スマホやゲームの使用時間など、メディア・コントロールができず、家庭学習が短くなる傾向が見られる。

外部環境

- 保護者の学校への理解があり、地域にも協力的な人が多い。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン(将来像、めざす姿)

<学校教育目標>

「夢と誇りを持ち 学び合い 高め合う生徒の育成」

<めざす学校像>

- 地域と協働する学校
- 学力、人間力の向上に取り組む学校
- 一人一人の居場所のある学校

<目指す生徒像>

- ・目標を持ち、自ら学ぶ意欲に満ちた生徒
- ・ルールの大切さを知り、基本的な生活習慣を身につけた生徒
- ・人権を尊重し、共に支え合い、高め合う生徒
行事や諸活動を通して、「笑顔と活気にあふれる学校」を目指す

<めざす教職員像>

- 本校の教育課題を深く理解し、果敢に立ち向かうことのできる教職員
- 強い使命感と情熱、高い倫理観、豊かな教育的愛情を持った教職員
- 多様な経験を積む中で協働して課題解決にあたるなど、生涯にわたって学び続ける教職員

○当該年度の具体的な学校経営目標

【生徒の安全・安心を基本とする】

1 学力の向上

- ・「学びのサイクル」の具体化と見える化・徹底と確認。
- ・効果的な場面で、ICT機器やタブレット端末の活用を軸に、興味や関心を持って授業に取り組むことができるよう、授業展開を工夫する。
- ※ICTを日常的・効果的に活用して主体的・対話的な深い学びを実現できる生徒を育成する。
個別最適化な学びの実現。学びの自立。AIドリル navima の活用。
- ・意図的な協働学習を効果的な場面で取り入れ、議論や発表を充実させる。活動を充実させる。
- ・授業に繋がる家庭学習の在り方を模索し、学習習慣の習慣化を図る。家庭学習の内容の転換。
- ・朝学習や放課後学習や、授業内での小テスト、反復練習を充実させ基礎基本を徹底する。

2 表現力の育成

- ・授業や宿題の中で自分の考えを80字程度の2文で接続詞を用いて書くなど、次につながる端的で論理的な文章を書く。
- ・自問清掃を振り返る心磨きノート、授業での振り返りで自分の考えをまとめる。
- ※「よむyomuワークシート」を活用した読解力や英語力の向上の取組。

3 規範意識の向上

- ・授業規律の徹底や積極的な生徒指導と、きめ細かな教育相談を実施する。
- ・生徒の自主的な活動やピアサポート活動を推奨することで自己肯定感を高め、問題の未然防止に努める。
- ・久米中学校いじめ問題対策基本方針に沿ったいじめを許さない学校づくりを行う。スマートフォンやインターネットの不適切な利用を減少させる。
- ・学校生活において互いに支え合い、高め合うことのできる生徒を育てる。人を大切に聴くことの徹底。
- ・情報交換を密に行い、外部機関と積極的に連携しながら適切な初期対応に努める。

4 豊かな心の育成や課題改善に向けた実践力

- ・道徳の授業の中で、自分事として考えさせる場面を工夫する。
- ・学級活動において学級における生活上の課題について話し合う活動を設定し、決定事項を実行する。
- ・生徒会活動を活性化し、リーダーの育成と同時に、生徒による自治活動を推進させる。
- ・ふるさと久米や津山市を愛し、貢献することのできる人づくりのための取組を充実させる。

5 地域とともにある学校の推進

- ・HPや各種通信、学校公開(行事を含む)等、あらゆる機会を通して、学校を開く。
- ・学校や地域で、子どもたちが外を知る体験活動の機会を更に充実させ、郷土愛を醸成する。
つやま郷土学の推進。地域の本物に触れる体験活動。つやま検定の取組。企業見学の参加。
- ・学校運営協議会を核として、地域と学校がともに教育に責任を持つ学校に変える。こみゆの実施。
- ・コミュニティ・スクールへの理解を深め、目指す生徒像を共有することで家庭や地域との連携を強める。
- ・小中連携(ブロック)による学力向上の取組

※学力の小中連携の具体的な取組を明確にし、中学校ブロック全教職員での当たり前の取組を徹底する。(教員の危機感と使命感の高揚)

○当該年度の具体的な計画

取組目標	担当者	何を	いつまでに	どのように	どこまで(目指す姿)
学力向上	全教職員 研修、研究主任 小中連携担当 研修担当	ICT機器の活用 ICT、ピアサポート 協働学習	通年 学期1回 通年	有効な場面で 公開授業で 研修後有効な場面で	生徒が毎日1回は体験 各自の実践に活かすことができる 1回は設定する
表現力の育成	全教職員 美化担当	80字の2文で接続詞を用いて自分の考えを書く(発信) 自問清掃の振り返り	通年 通年	教科や領域の振り返り 心磨きノートを書く	生徒アンケート 最上位50% その日の思いを書ける
規範意識の向上	生徒指導 教育相談	授業規律の徹底 教育相談週間の設定	通年 学期1回	生徒指導委員会での情報交換と指導 教育相談(担任、希望)	定刻での授業実施 全生徒へ実施
実践力の育成	全職員	生活上の課題について話し合い 生徒会活動	学期1回 行事ごと	学級活動の時間を確保 委員会での振り返り	生徒アンケート60%以上
豊かな心の育成	キャリア教育 道徳推進	久米地域を知る 久米地域の職業体験 学習したことの考え	2学期以降 通年	調べ学習と訪問、まとめ 振り返りノートを書く	地域からのアンケートで肯定的な評価 自分事として記入している
開かれた学校	管理職 地域連携担当 学年団	学校の様子、生徒の様子を発信	通年	学校ホームページ 学校だより 学級だより、学年だより	随時発信 月1回は必ず発信